

メールマガジンについて

メールマガジン「MG☆ボラマガ」は配信を始めた2006年12月以来、Vol.33まで配信している(2009年1月17日現在)。2008年度は、「学生のための、学生にとって利用価値のあるツール」としての価値を創造することに焦点を絞った工夫を加えることによって、学生に広くボランティアセンターの存在を周知し、更にボランティア関連情報の提供ツールとしての役割を高めることを目指した。

まず、前年度は配信が原則として毎月1回だったが、今年度からは毎月2回(原則1日と15日)に配信回数を増やした。そして、1日配信の号は主にボランティアセンター関係のニュースと現場で汗を流す学生の紹介や、本人が執筆した記事の内容に集約し、地域から寄せられるボランティア情報は15日に配信する号に集約した。これによって、提供する内容を整理することができ、何よりも学生を紹介する機会を増やせたことで、同年代の学生たちのいきいきとした様子や声を学生に伝えることができた。また、記事も学生に執筆してもらうことで、執筆した学生自身の振り返りや活動における励みにつながり、読者の多くを占める学生たちにとっても身近で、親しみやすい、読み物になったと考える。その他、臨時号を積極的に配信し、学生たちが企画する活動や企画の広報手段として利用してもらった。2009年1月17日現在、2008年度に配信した臨時号は20号にのぼり、臨時号の配信回数が2回だった前年度に比べて大幅に配信回数が増加した。これによって、「MG☆ボラマガ」が学生のボランティア・社会貢献活動を促進するための、利用価値のある手段としての特色も出すことができた。

2009年1月17日現在、登録者数は、416名であり、内訳は学生が368名、教職員が48名である。今年度が始まったころ(2008年4月1日現在)は、卒業生の登録を削除したこともあり登録者数は261名だったので、155名の増加、約4割増である。増加した理由については、4月の学生部主催新入生オリエンテーションにおいて、白金学生スタッフが携帯電話で登録ページを読み取ることのできるQRコードが記載された案内チラシを作成、配布し、ボランティアセンターでも来室学生に対して積極的に紹介したこと、またセンタースタッフたちも白金・横浜の両ボランティアセンターにおいて積極的に来室学生に紹介したことが功を奏したと考える。実際、登録者中1年生は94名であり、増加人数の6割を占めている。また、登録者が劇的に増加したのは春学期であり、7月末の時点で390人に達している。以上のことから、登録者数の増加のためには、「新入生」、「年度始め」が非常に重要なキーワードであることが明らかとなったので、2009年度は年度始めからさらに積極的な広報を展開していきたい。

現在のところ、登録は明治学院大学に在籍する学生及び教職員に限っており、登録方法も学内者専用ポータルサイトからのみであるため、今後も明治学院大学の学生のための、そして明治学院大学の特色を出したコンテンツ作りを心がけていきたい。そして来年度は学生にもっと積極的に関わってもらい、学生に利用してもらえらる媒体であることをアピールし、学生との協働体制を構築していきたい。

(李)